

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年7月3日
事業者名:	森松工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	当社は、安心・安全な水を供給するために、水環境ソリューションの提供、廃棄物削減、排水の厳密な監視、紙の使用量削減とリサイクル推進しています	⑥安全な水とトイレを世界中に、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任 つかう責任	①当社は水の清浄性を保ち、耐久性に優れたステンレスタンク技術を開発 ②紙の使用量を削減することによるCO2排出量の削減 ③工場から排出される排水のpHとフッ素イオン濃度の常時監視、排水基準に問題がないかを記録 ④2024年1月に発生した能登半島地震において、地域住民の飲水や生活用水確保の活動として翌日二日には社員を派遣し、自社タンクのみならず地域社会貢献に向けた活動を実施 ※延べ人員70名超え	指標	①衛生的な水を確保するための高品質タンクの数 ②紙の使用量 ③紙のリサイクル量
				目標	①2028年までに高品質で耐震性のあるステンレス鋼製タンクの供給台数を増やす ②2028年までに紙の使用量20%削減 ※2022年6月~2023年5月(3,170,906枚)比 ③2027年までに自社製品であるパネルタンクにおいて2005年以前、耐震基準前に導入したタンクの耐震補強を実現
社会	当社は、従業員の技術スキルの向上と質の高いトレーニングの促進に努めております。また、国籍や性別による差別のない職場環境の整備に努め、定期健康診断を通じて健康リスクを早期に発見することを目指しております。	⑤ジェンダー平等を実現しよう、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに	①森松工業職業能力開発校で訓練を受講 ②健康に関する相談窓口を設け、誰でもLINEで保健師と健康相談ができる環境整備	指標	①訓練を受けた従業員の数 ②健康診断を受けた受診率
				目標	①2027年まで、森松工業職業能力開発校を受けた従業員数を維持 ②2027年まで、健康診断率100%維持
経済	社内メンバー間のコミュニケーションを向上させるため、国籍問わず、革新的かつ包括的な社内デジタルコミュニケーションシステムを導入しています	⑧働きがいも経済成長も、⑦パートナーシップで目標を達成しよう、⑤ジェンダー平等を実現しよう	①社内情報プラットフォーム「アフリー」の導入 ※令和6年度6月までの利用者数:は617名(全従業員 78%) ②時間単位有給休暇制度の導入 ※使用実績 2023年6月分~2024年5月分:648名(全従業員 約80%)	指標	①アフリーのプラットフォームの利用者数 ②時間単位有給休暇制度の利用率
				目標	①2027年までに利用率を85%以上にする ②2027年までに利用率を85%以上にする
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 従業員全員の安全と健康に対する知識を深め、意識を深めるために、安全週間を実施しています。また、意識を高め、SDGsへの取り組みについてすべての人に知らせるために、社内外のコミュニケーション戦略を実施している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				